令和 3 年 度

事 業 報 告 書

令和3年度 事業報告

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、重点事業に位置付けた「福祉まるごと相談体制の構築」、「地域支え合い活動の推進」、「権利擁護の推進」、「多様なボランティア活動の推進」を中心に、各種事業に取り組みました。

「福祉まるごと相談体制の構築」については、毎月1回全係による情報共有を行い、相談内容に応じて、地域福祉コーディネーターや厚木市権利擁護支援センターの担当職員などがアウトリーチにより伴走型支援を行うなど、係を超えた横断的な対応を実施しました。

「地域支え合い活動の推進」については、地域福祉活動の推進母体である15地区の地区地域福祉推進委員会に対する支援を行うとともに、地域福祉コーディネーターは、個別支援・地域支援に取り組み、また、生活支援コーディネーターとして、市行政や地域包括支援センター、市民の方々と連携を図り、地域の中で住民同士が互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりや居場所づくり等の推進に努めました。

「権利擁護の推進」については、厚木市が策定した厚木市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、厚木市権利擁護支援センター事業として、成年後見制度の広報啓発や相談体制の充実を努めました。また、制度の利用が必要な人に支援がつながるよう関係機関や専門職との連携を図り、チーム支援の啓発をしながら利用促進に取り組みました。さらに、本人の意思を丁寧に把握し、地域に密着した活動を行うことが期待されている市民後見人の養成を実施するとともに、市内社会福祉法人による法人後見の受任に関する情報交換を行い、担い手の確保に努めました。

日常生活自立支援事業では、判断能力が十分でない高齢者や障がい者が地域で安心して暮らし続けることができるよう、福祉サービスの利用手続きの支援や金銭管理等の支援を行い、必要に応じて成年後見制度への移行を実施し、本会法人での後見人等の受任等、包括的な権利擁護の推進に取り組みました。

「多様なボランティア活動の推進」については、地域福祉の一翼を担うボランティア活動の活性化のため、ボランティア情報の提供に努めました。また、コロナ禍でも取り組めるボランティア活動として、参加者の自宅で作成していただいた作品（壁飾りの部品作り、車いすのブレーキ補助具）を取りまとめ、市内高齢者施設にお渡しをする「リモートボランティア講座」を開催しました。さらに、災害救援ボランティア支援センターの運営については、新型コロナウイルス感染症の影響により設置運営訓練は中止となりましたが、運営スタッフ養成講座や運営スタッフ向け研修を開催し、災害ボランティア支援体制の強化を図りました。

これら重点事業のほか各種事業については、行政や福祉関係機関等との連携・調整を図りながら効果的かつ効率的な事業の実施に努めたほか、フェイスブックによる情報発信や賛助会員への加入促進のため、本会事業への理解を深めていただく取組を行いました。

重点事業及び各種事業の実施状況については、次のとおりです。

1 法人事業

(1) 法人運営事業【110,293,463円】

ア 法人運営に係る会議等の開催

(ア) 理事会

1	開催日	令和3年5月31日(月)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事1人
	審議事項等	(1) 議案第1号 令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会事業報告について (2) 議案第2号 令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会決算について (3) 議案第3号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会評議員の選任候補者の推薦について (4) 議案第4号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会理事及び監事の候補者について (5) 議案第5号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について (6) 議案第6号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会評議員会の招集について (7) 報告事項1 職務執行状況報告について
2	開催日	令和3年6月21日(月)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事2人
	審議事項等	(1) 議案第7号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会会長の選定について (2) 議案第8号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会副会長の選定について (3) 議案第9号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会常務理事の選定について
3	開催日	令和4年1月28日(金)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事2人
	審議事項等	(1) 報告第1号 専決処分の報告について (令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について) (2) 議案第10号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について (3) 議案第11号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について (4) 議案第12号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について (5) 議案第13号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会評議員会の決議及び報告の省略について (6) 報告事項1 地域福祉活動計画(第6次)の実施状況について (7) 報告事項2 職務執行状況報告について (8) 報告事項3 一般会員の退会について (9) 報告事項4 新型コロナウイルス感染症に関する事業等の対応について

4	開催日	令和4年3月15日(火)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事2人
	審議事項等	(1)議案第14号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第3号)について (2)議案第15号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 ボランティアセンター設置及び管理運営規程の一部を改 正する規程について (3)議案第16号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について (4)議案第17号 役員等賠償責任保険の契約について (5)議案第18号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について (6)議案第19号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について (7)議案第20号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について

(イ) 評 議 員 会

1	開催日	令和3年6月21日(月)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員18人、監事2人
	審議事項等	(1)議案第1号 令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (2)議案第2号 令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について (3)議案第3号 理事の選任について (4)議案第4号 理事の選任について (5)議案第5号 理事の選任について (6)議案第6号 理事の選任について (7)議案第7号 理事の選任について (8)議案第8号 理事の選任について (9)議案第9号 理事の選任について (10)議案第10号 理事の選任について (11)議案第11号 理事の選任について (12)議案第12号 理事の選任について (13)議案第13号 監事の選任について (14)議案第14号 監事の選任について
2	決議があつたものとみなされた日	令和4年2月15日(火)
	決議方法	定款16条第4項の規定に基づく決議
	同意書の提出	評議員20人
	審議事項等	(1)議案第15号 令和3年度資金収支補正予算(第2号)について (2)議案第16号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄につい て (3)報告第1号 専決処分報告について

3	開催日	令和4年3月25日(金)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員17名
	審議事項等	(1)議案第17号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第3号)について (2)議案第18号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について (3)議案第19号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について

(ウ) 監査

開催日	令和3年5月17日(月)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	監事2人
監査事項	(1)理事の業務執行の状況について (2)法人の財産の状況について

イ 役員等研修会

県央都市社会福祉協議会連絡協議会が開催する役員研修会に参加しました。

開催日 令和3年11月19日(金)

開催方法 オンライン開催

内容 講演

テーマ「地域共生社会の実現に向けた社会福祉協議会の果たす
役割について」

講師 日本福祉大学福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 教授
元中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男 氏

ウ 会員募集運動

一般会員会費と賛助会員会費を合わせた納入総額18,899,700円

(ア) 一般会員会費 605,000円

第1種会員から第7種会員の合計121団体の一般会員会費(@5,000円)

(イ) 賛助会員会費 18,294,700円

a 個人 自治会を通して各世帯に賛助会員会費の納入を依頼(@500円)

b 法人 ダイレクトメールにより各法人に賛助会員会費の納入を依頼(@1,000円)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、加入募集期間を延長しました。

賛助会員会費の実績

(単位：円)

(単位：世帯、法人)

地区名	会 費		会費合計	会員数		会員合計
	世 帯	法 人		世帯数	法人数	
厚木北	974,520	469,346	1,443,866	5,187	103	5,290
厚木南	1,063,200	244,000	1,307,200	3,741	36	3,777
依知北	1,001,200	213,000	1,214,200	3,581	51	3,632
依知南	940,700	168,000	1,108,700	2,779	32	2,811
睦合北	623,800	133,450	757,250	2,126	16	2,142
睦合南	933,100	161,000	1,094,100	5,189	40	5,229
睦合西	777,500	104,000	881,500	2,864	23	2,887
荻野	1,756,736	138,000	1,894,736	4,635	30	4,665
小鮎	1,424,760	147,000	1,571,760	3,457	33	3,490
南毛利	2,603,540	205,070	2,808,610	9,365	55	9,420
南毛利南	951,700	144,000	1,095,700	2,430	33	2,463
玉川	455,500	90,000	545,500	913	17	930
森の里	543,987	3,000	546,987	1,935	1	1,936
相川	1,176,600	306,900	1,483,500	3,568	69	3,637
緑ヶ丘	525,091	16,000	541,091	1,496	6	1,502
合計	15,751,934	2,542,766	18,294,700	53,266	545	53,811

エ 事務局の管理運営等

(ア) 事務局の管理運営

文書の処理、人事管理、経理及び財産の管理等を行い、事務局の円滑な管理運営に努めました。

(イ) 月次巡回監査等の実施

「厚生労働省」社会福祉法人審査基準（第3の6の(1)）に基づく、専門家による財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援の趣旨に基づき、西迫会計事務所と社会福祉法人経理支援業務委託契約を締結し、月次巡回監査等を実施しました。

結果 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書（本書107ページ）のとおり

オ 職員研修・人材育成

神奈川県社会福祉協議会や福祉関係機関等による研修を職員が受講したほか、職員の資質向上、共通理解を目的に内部研修を実施しました。

また、「めざす職員像」及び「人材育成マップ」を策定し、職員の資質向上を

目的に、全職員を対象としたスーパービジョンを実施しました。

- 4月 内部職員研修①「福祉まるごと相談について」
- 5月 行政・社協地域福祉推進担当者連絡会研修会
生活福祉資金新任者研修、在宅医療・介護連携研修会
- 6月 日常生活自立支援事業初任者研修、社会福祉協議会新任職員研修会、
災害ボランティアセンター養成講座運営者コース
- 7月 中核機関研修、社会福祉協議会新任職員研修会、中核機関・市町村成
年後見担当職員研修会
- 8月 生活支援コーディネーター研修基本コース、社会福祉協議会新任職員
研修、社会福祉協議会基礎研修
- 9月 スーパーバイザー研修、実習指導者フォローアップ研修、社会福祉協
議会基礎研修
- 10月 内部職員研修②「スーパービジョンについて」、スーパーバイザー研
修、包括的支援体制構築・重層的支援体制整備事業担当者研修会、法
人後見基礎研修、生活福祉資金研修、安全運転管理者等講習会
- 11月 災害ボランティアセンター養成講座運営者コース、相談援助研修（基
本編）、スーパーバイザー研修
- 12月 生活支援コーディネーター研修基本コース、相談援助研修基本編、ス
ーパービジョン研修、
- 1月 日常生活自立支援事業現任者研修、神奈川県障害者虐待防止・権利擁
護研修
- 2月 日常生活自立支援事業現任者研修、成年後見制度利用促進体制整備研
修、人材育成体制研修、中核機関向け研修
- 3月 日常生活自立支援事業現任者研修、重層的支援体制整備事業課題別全
体研修、内部職員研修③グループワーク

カ 県央都市社会福祉協議会連絡協議会

県央都市社協連絡協議会へ参加し、情報交換、調査研究を行いました。

(ア) 幹事会

開催日 令和3年6月23日付 ※書面開催
内 容 令和3年度総会の事前協議

(イ) 総 会

開催日 令和3年7月12日（月）
場 所 愛川町福祉センター3階会議室
内 容 ・令和2年度事業報告及び決算について
・令和2年度監事監査報告
・令和3年度役員選任について
・令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について
・神奈川県社会福祉協議会より情報提供と情報共有

(ウ) 幹部職員会

開催日 令和4年2月22日付 ※書面開催
内 容 令和4年度事業の方向性についての検討

(エ) 会長会・幹事会 合同会議

開催日 令和4年3月11日（金）※書面開催
内 容 ・令和3年度事業報告について
・令和4年度事業の方向性（案）について

- ・ 県央都市社協連絡協議会の運営費負担金について
- ・ 県央都市社協連絡協議会役員の輪番について
- ・ 市町村社協部会（県社協主管）役員選出について

(オ) 課題別職員情報交換会

- 第1回 開催日 令和4年2月19日（木）※資料提供
 テーマ「書類等の押印の廃止状況について」
- 第2回 開催日 令和4年3月3日（木）※資料提供
 テーマ「災害時の職員招集について」

(カ) 役員対象研究会【再掲】

- 開催日 令和3年11月19日（金）
 開催方法 オンライン開催
 内 容 講演

テーマ「地域共生社会の実現に向けた社会福祉協議会の果たす役割について」

講師

日本福祉大学福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 教授
 元中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男 氏

キ 社協あつぎの発行

(ア) 「社協あつぎ」第162号から第165号まで、それぞれ6月、9月、12月、3月の各15日に、4回発行しました。（自治会を通じて配布）

(イ) 広報委員会の開催

社協あつぎ	開催日	場所
第162号	令和3年 5月14日(金)	厚木市保健福祉センター
第163号	令和3年 8月16日(月)	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面協議
第164号	令和3年11月10日(水)	厚木市保健福祉センター
第165号	令和4年 2月10日(木)	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面協議

ク 厚木市社会福祉大会

第52回厚木市社会福祉大会（厚木市と共催）

被表彰者等 表彰 44人、感謝状贈呈 3人・4団体

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、式典の開催は中止となりました。

ケ 啓発宣伝・情報配信事業

本会ホームページなどを活用し、福祉情報の提供を行いました。また、フェイスブックにより本会の事業及び地区地域福祉推進委員会のイベント等の情報発信に努めました。

(ア) フェイスブックへの投稿

147回（フォロワー数 160増、「いいね」数 135増）

コ ふれあい基金
寄付採納件数・金額 2件 総額 400,000円

サ 善意銀行

(ア) 一般寄付

a 寄付採納件数・金額 44件 総額 7,219,388円

b 物品寄付 14件

内容 使用済み切手

(イ) 指定寄付

a 寄付採納件数・金額 1件 総額 141,167円

使途の指定 交通遺児支援

b 物品寄付 1件

内容 もいちどペーパー（トイレットペーパー）10,000ロール

使途の指定 市内障がい者施設及び障がい者福祉事業所のために

(2) 住民福祉活動推進事業【35,047,254円】

ア 地区地域福祉推進委員会事業費の交付

15地区の地区地域福祉推進委員会の運営や活動を支援するため、
総額30,341,000円を交付

交付金財源 賛助会員会費 7,241,000円

厚木市交付金 23,100,000円

イ 地区地域福祉推進委員会活動への助成

(ア) 食事サービス助成金 13地区 500,000円

(イ) 広報活動助成金 15地区 210,000円

(ウ) 高齢者ミニデイサービス事業等助成金 15地区 1,500,000円

(エ) 子育て支援事業助成金 15地区 480,000円

(オ) 青少年ふれあい事業助成金 12地区 240,000円

(カ) 見守り・支え合い活動助成事業 5地区 240,000円

(キ) 高齢者健康体操教室助成事業 5地区 65,000円

合計 3,235,000円

ウ 住民福祉活動推進事業

小地域ふれあい活動助成金（地域住民が行う自主的な活動の支援）

1団体@5,000円

1団体

5,000円

エ 地域福祉コーディネーター活動事業

地区地域福祉推進委員会の活動支援とともに、地域の高齢者世帯、障がい者世帯等の個別課題の発見や解決等を図るため、地域の特性に応じた支援や社会資源、地域資源の活用などをコーディネートする地域福祉コーディネーターを配置し、地域福祉の推進に努めました。

(ア) 相談・問合せ件数 1,532件

(イ) 会議、打合せ（ケ会議等）へ参画 360件

(ウ) 地域福祉活動、研修等へ参加 98件

オ 地域福祉推進委員会連絡会議の開催

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

(3) 福祉活動推進事業【3,488,621円】

ア 同行援護従業者養成研修事業

福祉人材育成のため、神奈川県指定を受け同行援護従業者養成研修を実施しました。

同行援護従業者養成研修 一般課程及び応用課程 修了者 13人

	開催日・場所	内 容
1	令和3年10月11日(月) 厚木市保健福祉センター	・開講式 オリエンテーション 〈一般課程〉視覚障害者(児)福祉サービス 〈一般課程〉同行援護の制度と従業者の業務 〈一般課程〉障害・疾病の理解① 〈応用課程〉障害・疾病の理解②
2	令和3年10月15日(金) 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉障害者(児)の心理① 〈応用課程〉障害者(児)の心理② 〈一般課程〉同行援護の基礎知識 〈一般課程〉情報支援と情報提供
3	令和3年10月22日(金) 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉代筆・代読の基礎知識 〈一般課程〉基本技能(演習)
4	令和3年10月25日(月) 厚木市保健福祉センター 地下道 イオン厚木店	〈応用課程〉場面別基本技能(演習) 〈応用課程〉場面別応用技能(演習) 〈一般課程〉応用技能(演習)
5	令和3年10月29日(金) 厚木市保健福祉センター 神奈川中央交通東(株)厚木営業所 小田急線本厚木駅 相鉄線海老名駅	〈一般課程〉応用技能(演習) 〈応用課程〉交通機関の利用(演習) 〈応用課程〉場面別応用技能(演習) ・閉講式 修了証明書授与

※ 講師 神奈川県視覚障害者福祉協会 鈴木 孝幸 氏、福喜多 恭子 氏
厚木市社協居宅介護事業所 小檜山 季代子 氏、小池 美智代 氏、
飯野 和子 氏

イ 福祉団体等助成事業

(ア) 福祉団体(9団体) 880,000円

(イ) 一般会員組織への助成(3団体) 690,000円

ウ 車いすの貸出事業

疾病やケガなどにより、一時的に車いすを必要とする方に貸出を行いました。
延べ貸出件数 120件

エ 保育園児支援事業

市内保育施設における情操教育に関する教材等の整備に対する助成金として、
総額1,234,397円を助成(48施設)

オ 福祉活動団体等の研修支援（マイクロバス運行）事業

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により運行はありませんでした。

カ 障害者週間啓発事業

啓発用のチラシ（「障害者週間」の紹介と併せて、ともに生きるかながわ憲章の理念を広く社会に浸透させるため、「リスペクトでつながろう」のロゴの啓発及び「障害者週間即売会」並びに本会に設置されている「厚木市権利擁護支援センター」の案内を掲載）を、ポケットティッシュ 1,000 個に挟み込み、市民に配布しました。

（４）共同募金配分金事業【1,444,206 円】

ア 男の料理教室

高齢者の健康維持と介護予防等を目的に、男性高齢者が正しい食生活のあり方を学ぶ場の提供として、アミューあつぎ 6 階クッキングスタジオを会場に男の料理教室を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和 3 年 1 2 月 3 日（金）	調理実習	8 人

※ 令和 4 年 2 月 4 日については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

イ 障害者地域活動支援センター助成事業

障害者地域活動支援センター 5 事業所に対し、運営費として総額 5 5 0, 0 0 0 円を助成

ウ 高齢者福祉施設一日体験事業の実施

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

エ 年末たすけあい事業

共同募金年末たすけあい配分金で、障害者就労継続支援 B 型事業所と障害者地域活動支援センターの年末事業等に、総額 8 5 0, 0 0 0 円を助成

障害者就労継続支援 B 型事業所 1 2 事業所

障害者地域活動支援センター 5 事業所

(5) ボランティアセンター活動事業【6,009,785円】

ア ボランティアセンターの管理運営

(ア) ボランティア相談件数

(単位：件)

相談内容		対応内訳								件数
		情報提供、指導	情報周知	連絡調整	備品貸出	保険説明	講師派遣	募集資材掲出	その他	
活動相談	ボランティアの種類、方法	24	0	11	0	0	0	0	1	36
	団体の活動内容、参加方法	6	0	19	0	0	0	0	0	25
	実習、体験相談	2	0	3	0	0	0	0	0	5
	活動組織の立ち上げ支援	1	0	0	0	0	0	0	1	2
派遣相談	派遣相談	10	0	8	0	0	0	0	1	19
	掲出依頼	0	0	0	0	0	0	0	1	1
保険相談	保険の種類、加入方法	1	0	0	0	10	0	0	1	12
活動指導	団体からの活動相談、指導	3	0	1	0	0	0	0	0	4
	個人からの活動相談、指導	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	団体への活動依頼方法	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	収集ボランティア(送付先等)	11	0	2	0	0	0	0	1	14
	各種助成金	5	0	0	0	0	0	0	0	5
	備品貸出相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の問合せ	18	0	9	0	0	0	0	5	32
計		82	0	54	0	10	0	0	11	157

(イ) ポスター掲示

ポスター 30枚

チラシ・パンフレット 373冊

(ウ) ボランティア活動保険

加入手続き 127件

事故処理 6件

(エ) ボランティアセンター利用状況

部屋名	利用者数(延べ人数)
研修室	6,699人
作業室	2,211人
点字作成室	566人
録音室	1,943人

部屋名	利用者数(延べ人数)
対面朗読室	1,595人
合計	13,014人

(オ) ボランティアセンター登録(令和4年3月31日現在)

団体 78団体 4,330人
個人 36人

(カ) ボランティアセンター運営委員会の開催

開催日	令和3年 6月30日(水)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	10人
協議事項	(1)委員長及び副委員長の選出について (2)令和2年度ボランティアセンター事業報告について (3)令和3年度ボランティアセンター事業計画について

イ ボランティア講座の開催

(ア) 傾聴講座

傾聴ボランティアの養成を図るため開催しました。

開催日	令和3年11月12日、19日、26日、12月3日、10日 すべて金曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	特定非営利活動法人 P・L・A (パートナーシップアンドリスニングアソシエーション) 理事長 後庵 正治 氏、小俣 眞佐美 氏
参加者	18人

(イ) 傾聴フォローアップ研修

新型コロナウイルス流行下でもできる傾聴活動を考える一環として、電話等による傾聴をテーマに開催しました。

開催日	令和3年 7月 2日(金)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	特定非営利活動法人 P・L・A (パートナーシップアンドリスニングアソシエーション) 理事長 後庵 正治 氏、小俣 眞佐美 氏
参加者	19人

(ウ) 地域ボランティア養成講座

地区の福祉活動に携わる人材の発掘・養成と担い手の確保及び受講者のその後の継続的な地域活動を支援するため、睦合北地区、睦合南地区及び緑ヶ丘地区地域福祉推進委員会と共催で実施予定でしたが、新型コロナウイルスの影響に伴うまん延防止等重点措置の影響により、次年度に延期となりました。

(エ) あつぎ・冬のリモートボランティア

新型コロナウイルスの流行下でも取り組めるボランティア活動として、自宅で作品を作り、完成作品を市内高齢者施設にお渡しするリモートボランティア講座を開催しました。

開催日	令和4年 1月21日から3月18日
場所	オンライン開催(社会福祉協議会事務所、参加者自宅)
講師	A・C・Y(あつぎ・クロス・ゆう) ※作品制作のレクチャー動画講師として
参加者	22人

内 容	(1)桜モチーフの壁飾り (2)車いすブレーキの補助具 ※いずれかを選び、参加者自宅で作成。
作品受入 施 設	グランモールさくら及川、けいわ荘、さつきの里あつぎ、 ムツアイホーム

ウ 福祉教育推進事業

(ア) 小中学生用福祉教育推進事業

小中学校における福祉教育推進のため、体験学習の講師を派遣しました。

また、点字体験及び車いす体験講座については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため講師の派遣を原則中止し、希望する学校には物品貸出のみ行いました。

福祉教育実施学校数	24校	(小学校18校、中学校6校)			
講座開催数	48回		延べ受講児童生徒数：	3,782人	
内 訳	〔	手話体験	13校 13回	延べ受講児童生徒数：	1,301人
		点字体験	1校 1回	延べ受講児童生徒数：	44人
		誘導体験	8校 8回	延べ受講児童生徒数：	458人
		車いす体験	16校 16回	延べ受講児童生徒数：	1,065人
		高齢者擬似体験	7校 7回	延べ受講児童生徒数：	755人
		認知症サポート	3校 3回	延べ受講児童生徒数：	159人

(イ) 市内企業・団体用福祉教育推進事業

誰もがお互いを尊重し、支え合う社会を構築するために、市内企業・団体を対象に物品の貸出を行いました。

実施企業・団体数	4団体				
講座開催数	8回		延べ受講者数：	490人	
内 訳	〔	高齢者擬似体験	4団体 4回	延べ受講者数：	170人
		車いす	1団体 4回	延べ受講者数：	320人

エ ボランティアグループ等への助成

(ア) ボランティア団体活動助成金

29団体 交付総額 594,000円

(イ) 障がい者支援団体助成金

3団体 交付総額 430,000円

オ ボランティア情報の提供

ホームページ及びボランティアセンター掲示板等で情報の提供を行いました。

カ 災害ボランティア支援体制の強化

(ア) 災害救援ボランティア支援センター運営スタッフ養成講座

災害救援ボランティア支援センターの運営に係るスタッフの養成を図り、運営スタッフ登録をしてもらうため開催しました。

開 催 日	令和3年11月 7日 (日)
場 所	あつぎ市民交流プラザ
講 師	一般社団法人 ピースボート災害支援センター 理事 小林 深吾 氏、関根 正孝 氏
参 加 者	24人(登録7人)

- (イ) 災害救援ボランティア支援センター運営スタッフ向けフォローアップ研修
 災害救援ボランティア支援センターの運営に係るスタッフの識見向上を図り、新型コロナウイルス感染流行下での災害救援ボランティア支援センターの設置・運営について考えるため開催しました。

開催日	令和3年 6月 5日 (土)
場 所	オンライン開催 (社会福祉協議会事務所、参加者自宅)
講 師	公社 SL 災害ボランティアネットワーク 代表理事 濱田 政宏 氏
参加者	15人 (運営スタッフ6人)

- (ウ) 災害救援ボランティア支援センター運営スタッフ向けステップアップ研修
 災害救援ボランティア支援センターの運営に係るスタッフの識見向上を図り、災害ボランティアから見た災害救援ボランティア支援センターの設置・運営の在り方について考えるため開催しました。

開催日	令和4年 2月26日 (土)
場 所	オンライン開催 (社会福祉協議会事務所、参加者自宅)
講 師	公社 SL 災害ボランティアネットワーク 代表理事 濱田 政宏 氏 常務理事 天寺 純香 氏
参加者	22人 (運営スタッフ9人)

- (エ) 厚木市との連携を図るため、災害救援ボランティア支援センターに関する打合せを実施しました。

開催日	令和3年 5月26日 (水)、7月7日 (水)
場 所	厚木市保健福祉センター、市役所第二庁舎
出席者	7人、11人

- (オ) 災害救援ボランティア支援センター設置運営訓練については、新型コロナウイルスの影響により令和3年度の実施を中止しました。

- (カ) 協定書に基づく3者 (青年会議所、厚木市、社協) 情報交換会
 厚木市災害救援ボランティア支援センター設置・運営マニュアルの改訂等について

開催日	令和4年 3月16日 (水)
場 所	厚木市役所第二庁舎
出席者	10人

キ ボランティア団体との共催による講座

- (7) 夏休み親子手話教室

親子で楽しみながら手話を体験及び学習することを目的に開催しました。

開催日	令和3年 7月29日 (木) ※全3回中2回を新型コロナウイルスの影響により中止
場 所	厚木市保健福祉センター
講 師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	18人

(イ) 手話入門講座

聴覚障がい者に対する認識や理解を深めることを目的に開催しました。

開催日	令和4年 2月18日、25日、3月4日、11日、18日 すべて金曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	17人

(ウ) 福祉教育推進ボランティア養成講座

福祉教育推進事業の講師の養成を図るため開催しました。

開催日	令和4年 2月 1日 (火)、2日 (水)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市福祉教育推進ボランティアあおぞら会
参加者	4人

(エ) 音声訳ボランティア講座

音声訳ボランティア講座を開催しました。

開催日	令和3年 5月14日 (事前説明会) 5月21日、28日、6月4日、11日、18日、 25日、7月2日、9日、16日のすべて金曜日と 28日の水曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市録音赤十字奉仕団
参加者	13人

(オ) 誘導法講座

誘導法を習得したボランティアの養成を図るため開催しました。

開催日	令和4年 1月31日、2月7日、14日、21日、28日 すべて月曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市誘導赤十字奉仕団
参加者	6人

(6) 資金貸付事業【21,938,313円】

ア 生活福祉資金貸付事業

低所得者等の経済的自立及び安定した生活の促進を図るため生活福祉資金制度の申込受付を行いました。

資金の種類	申込件数	申込額
緊急小口資金	2件	200,000円
総合支援資金	1件	300,000円
特例 緊急小口資金	898件	158,760,000円
特例 総合支援資金	1,455件	744,540,000円
教育支援資金	8件	5,946,000円
合計	2,364件	909,746,000円

※ 生活福祉資金の貸付金については、原則、神奈川県社会福祉協議会から借受者の口座に振込まれます。

イ 緊急援護資金貸付事業

一時的に生活に困窮し、緊急に援護が必要と認められた世帯に対し、生活資金の貸付を行いました。

貸付金額	貸付件数	貸付額
10,000円未満	17件	114,000円
10,000円以上 20,000円未満	21件	276,000円
20,000円以上 30,000円未満	32件	794,000円
30,000円	50件	1,500,000円
合計	120件	2,684,000円

ウ 行旅人旅費貸付事業

行旅人援護のため、旅費の一部の貸付を行いました。

(7) 在宅援護等事業【1,074,944円】

ア 移送サービス事業（ひばり号の運行）

高齢、障がいなどにより単独での移動が困難な方を対象に、有料で通院等の移送サービスを実施しました。

(単位：件)

	利用 件数	利用用途		利用先	
		通院	通院外	市内	市外
4月	66	46	20	49	17
5月	54	33	21	47	7
6月	80	43	37	63	17
7月	76	47	29	62	14
8月	83	61	22	69	14
9月	70	49	21	57	13
10月	63	44	19	53	10
11月	65	44	21	53	12
12月	64	39	25	52	12
1月	57	35	22	47	10
2月	68	43	25	55	13
3月	58	39	19	50	8
合計	804	523	281	657	147

イ あつぎしあわせライフサービス事業（有料在宅援護サービス）

高齢、障がい、疾病のほか、ひとり親家庭などにより、日常生活においてサポートを必要とする家庭に対し、市民の参加と協力により、有料で家事援助や介助などのホームヘルプサービスを提供しました。

(7) 利用実績

(単位：人、件、時間)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	利用者数	4	3	4	3	4	2	3	2	3	1	3	2	34
	件数	8	7	8	6	6	4	5	4	5	3	6	5	67
	時間数	16	11	15	9	12	7	12	7	12	6	12	9	128
障がい者	利用者数	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	5
	件数	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	6
	時間数	3	3	4	3	0	0	0	0	0	1	0	0	14
合計	利用者数	5	4	5	4	4	2	3	2	3	2	3	2	39
	件数	9	8	9	8	6	4	5	4	5	4	6	5	73
	時間数	19	14	19	12	12	7	12	7	12	7	12	9	142

(イ) 利用会員登録者数 35人

(ウ) 協力会員（ヘルパー）登録者 20人

ウ 災害見舞金の支給

災害罹災世帯に対して見舞金を支給しました。

区 分	件 数	支 給 額	備 考
全 焼	4件	90,000円	@30,000円×1、@20,000円×3
半 焼	2件	25,000円	@15,000円×1、@10,000円×1
半 壊	1件	15,000円	@15,000円×1
死 亡	1件	30,000円	@30,000円×1
負 傷	3件	45,000円	@15,000円×3
合 計	11件	205,000円	

2 権利擁護支援センター

(1) 権利擁護支援事業【21,544,674円】

ア 成年後見制度の利用促進

(ア) 成年後見制度の周知啓発

制度の周知啓発と厚木市権利擁護支援センターの周知啓発のため、パンフレットを関係機関374カ所(2,324部)に送付しました。また、タウンニュースや地域福祉推進委員会広報紙等に記事を掲載し、Facebookやホームページで随時情報発信を行いました。

(イ) 厚木市権利擁護支援センターの職員が講師となり、地域に出向いて出前講座を実施しました。

開催日・場所	内容	参加者
令和3年12月14日(火) 依知北公民館	成年後見制度の理解～民生委員の役割～	依知北地区民生委員・児童委員20人
令和3年12月17日(金) 南毛利公民館	成年後見制度の理解について～厚木市権利擁護支援センターの活用方法～	南毛利地区住民、南毛利地域包括支援センター職員10人
令和4年1月20日(木) オンライン開催	厚木市権利擁護支援センター(中核機関)との連携について学ぼう!	厚木市内病院ソーシャルワーカー、ケアマネージャー24人
令和4年3月9日(水) 緑ヶ丘公民館	成年後見制度の理解～民生委員の役割～	緑ヶ丘地区民生委員・児童委員11人
令和4年3月22日(火) オンライン開催	厚木市権利擁護支援センター(中核機関)との連携について～事例とともに～	荻野地区の居宅介護支援事業所ケアマネージャー、荻野地域包括支援センター職員13人

(ウ) 成年後見制度や関連する制度についての知識を深めるため、成年後見制度普及啓発講座を実施しました。

開催日・場所	内容	参加者
令和3年6月8日(火) 厚木市保健福祉センター	『今からできる老い支度』～任意後見制度と自筆証書遺言書保管制度～	市内在住・在勤者23人
令和3年8月10日(火) オンライン開催	成年後見制度普及啓発講座～入門編～『成年後見ってどういう制度なの?』	市内在住在勤者、地域包括支援センター職員、障がい者相談支援センター職員、社協職員8人
令和3年10月12日(火) 厚木市保健福祉センター	『今からできる老い支度』～任意後見制度と自筆証書遺言書保管制度～ (※市民後見人資質向上研修との合同開催)	厚木市内在住在勤者16人
令和3年12月14日(火) オンライン開催	後見制度支援信託と家族信託	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所職員20人

開催日・場所	内容	参加者
令和4年 1月11日(火) 厚木市保健福祉センター	後見制度支援信託と家族信託 (※市民後見人資質向上研修 との合同開催)	厚木市内在住勤者 11人
令和4年 1月28日(金) 厚木市保健福祉センター	成年後見制度 基本のキ	厚木市役所職員18人

※講師 司法書士 古根村 博和 氏、遺言書保管官 古谷 ゆう子 氏、社会福祉士 那須 三朗 氏、司法書士・民事信託士 福住 桂司 氏、司法書士 辻本 和弥 氏、司法書士・民事信託士 高橋 和明 氏

(エ) 本人を中心とした「チーム支援」の仕組みづくり

関係機関と連携し、本人の状況に応じて福祉・医療・地域等関係者がチームとして関わる支援会議を開催しました。 会議対応件数：15件

(オ) 候補者調整会議

後見人等候補者を調整する会議を開催し、本人にとってふさわしい後見人等候補のマッチングに努めました。

開催日・場所	協議事項
令和3年 5月13日(木) あつぎ市民交流プラザ	(1) 市長申立て候補者推薦案件について (日常生活自立支援事業からの移行)
令和3年 7月 8日(木) あつぎ市民交流プラザ	(1) 市民後見人候補者名簿の登録更新について
令和3年 9月 9日(木) オンライン開催	(1) 親族申立て候補者推薦案件について (日常生活自立支援事業からの移行) (2) 市長申立て候補者推薦案件について (日常生活自立支援事業からの移行)
令和3年10月14日(木) あつぎ市民交流プラザ	(1) 本人申立て候補者推薦案件について (日常生活自立支援事業からの移行)
令和3年11月11日(木) あつぎ市民交流プラザ	(1) 市民後見人追加選任申立案件について (法人後見受任ケースの追加選任) (2) 親族申立て候補者推薦案件について
令和4年 1月13日(木) あつぎ市民交流プラザ	(1) 市民後見人追加選任申立案件について (法人後見受任ケースの追加選任)
令和4年 2月24日(木) あつぎ市民交流プラザ	(1) 本人申立て候補者推薦案件について
令和4年 3月10日(木) あつぎ市民交流プラザ	(1) 市長申立て候補者推薦について (2) 市民後見人候補者名簿登録(更新)について (3) 市民後見人候補者名簿登録(新規)について

イ 地域連携ネットワークにおける中核機関の運営

(ア) 厚木市成年後見制度利用促進協議会の運営

権利擁護における地域連携ネットワークの中核機関として、協議会の事務局を担い、各種専門職団体や各関係機関、家庭裁判所との連携・情報交換の場として協議会を開催しました。

開催日・場所	協議事項等
令和3年 5月26日(水) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催	(1) 成年後見制度に係る関係機関対応職員のスキル向上について (2) 令和2年度厚木市成年後見等利用支援事業の実施状況について (3) 令和2年度厚木市権利擁護支援センターの取組状況について
令和3年 10月 6日(水) あつぎ市民交流プラザ	(1) 申立て時の診断書の取得について (2) 対象者の類型について
令和4年 2月 9日(水) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催	(1) 厚木市権利擁護支援センターの愛称について (2) 令和3年度厚木市成年後見等利用支援事業の実施状況について (3) 令和3年度厚木市権利擁護支援センターの取組状況について

(イ) 「チーム支援」における専門職との連携

チーム支援会議にチーム支援アドバイザー（各種専門職）を派遣しました。

チーム支援アドバイザーの派遣件数：2件

(ウ) 成年後見制度関係等相談対応延べ件数 1,600件

(新規相談対応262件、継続相談対応1,338件)

	高齢者一般	高齢者	精神障がい	知的障がい	身体障がい	その他	合計
問合せ	17	47	15	13	3	4	99
成年後見制度（法定後見） 具体的な相談	36	187	46	35	2	19	325
申立について	24	95	22	13	8	2	164
任意後見制度・終活相談	54	2	8	2	0	1	67
後見人等からの相談	5	32	3	12	2	0	54
チーム支援会議等 の開催・参加	3	11	1	4	0	0	19
連絡・調整	138	291	116	157	4	12	718
その他	37	59	21	7	0	30	154
合計	314	724	232	243	19	68	1,600

a 相談支援のうち、後見人等の審判が決定された件数 22件

b 日常生活自立支援事業から後見人等の審判が決定された件数 5件

c 専門職相談

実際に成年後見人等の業務を行っている専門職に制度の利用方法や後見人等の実務に関することなどを相談することができる専門職相談を実施しました。

(a) 弁護士による成年後見相談 相談件数 8件

(b) 司法書士による成年後見相談 相談件数 19件

(エ) 後見人等の支援

後見人等からの相談に対して助言を行うとともに関係機関等と連絡調整をして包括的に後見人等を支援しました。また、親族が後見人等を受任後に課題等を共有できるよう親族後見人交流会を初めて開催しました。

開催日・場所	内容	参加者数
令和3年11月24日(水) 厚木市保健福祉センター	親族後見人の情報交換、 課題共有	親族後見人2人

ウ 成年後見制度の担い手の確保

(ア) 成年後見制度の担い手として、本人の意思を把握しながら地域に密着した活動を行うことができる市民後見人の養成講座を実施し、新たな市民後見人候補者13人が登録されました。

開催日・場所	内容	参加者数
令和3年 7月12日(月) ～8月10日(火) オンライン開催(自宅学習)	基礎研修Ⅰ「成年後見制度概論・障がいの理解」	23人
令和3年 9月 3日(金) ～9月 7日(火) オンライン開催(自宅学習)	基礎研修Ⅱ「対人援助の基礎・成年後見の実務等」	15人
令和3年 9月21日(火) 神奈川県社会福祉協議会	基礎研修審査会	
令和3年11月 2日(火) あつぎ市民交流プラザ	実践研修① 地域福祉計画・地域包括ケアシステム・介護保険制度・高齢者施策/高齢者虐待防止法・生活保護制度・障がい者施策/障がい者虐待防止法・年金制度・健康保険制度	13人
令和3年11月 9日(火) あつぎ市民交流プラザ	実践研修② 地域福祉の取組状況/社会資源・地域福祉のネットワークづくり・税務申告制度・人権/権利擁護の理念・対人援助の基礎	13人
令和3年11月17日(水) あつぎ市民交流プラザ	実践研修③ 申立て手続き書類作成・財産目録の作成・後見計画/収支予定表の作成	12人
令和3年11月26日(金) あつぎ市民交流プラザ	実践研修④ 報告書の作成・後見事務終了の手続き・死後事務/後見報酬付与申立事務	13人
令和3年12月 1日(水) 神奈川県小田原合同庁舎	実践研修⑤ 家庭裁判所の実際	13人
令和3年12月 7日(火) あつぎ市民交流プラザ	実践研修⑥ 施設職員による講義(入居者の生活状況や課題等について)	13人
令和3年12月 8日(水) あつぎ市民交流プラザ	実践研修⑦ 課題演習「事例報告・検証・グループワーク」	13人

開催日・場所	内容	参加者数
令和3年12月13日(月) あつぎ市民交流プラザ	実践研修⑧ 後見業務実施機関の実務と市民後見人サポート体制・修了試験	13人
令和4年1月7日(金) 厚木市保健福祉センター	実践研修審査会	
令和4年1月18日(火) 厚木市保健福祉センター	修了式	13人
令和4年1月19日(水) ～3月9日(水) 厚木市保健福祉センター他	実務研修	13人

※講師 厚木市役所職員、税理士 木下 健 氏、弁護士 鈴木 裕 氏、社会福祉士 那須 三朗 氏、司法書士 篠原 康史 氏、行政書士 須藤 亨 氏、横浜家庭裁判所小田原支部職員、社会福祉法人敬和会職員、社会福祉法人すぎな会職員

(イ) 市民後見人候補登録者の知識の習得及び資質向上を目的とし、資質向上研修を実施しました。

開催日・場所	内容	参加者数
令和3年7月14日(水) ～7月21日(水) オンライン開催(自宅学習)	「成年後見を学ぶ(基礎編)～権利擁護としての成年後見制度～」	6人
令和3年10月12日(火) 厚木市保健福祉センター	『今からできる老い支度』～任意後見制度と自筆証書遺言書保管制度～	6人
令和3年10月12日(火) ～10月18日(月) オンライン開催(自宅学習)	「成年後見制度を学ぶ(基礎編)～地域福祉における法人後見事業と任意後見制度の理解～」	5人
令和4年1月11日(火) 厚木市保健福祉センター	「成年後見制度の概要と後見制度支援信託、家族信託について」	5人
令和4年3月16日(水) 厚木市保健福祉センター	市民後見人意見交換会 ・市民後見人の養成状況と活動について ・市民後見人からの状況報告	5人

※講師 司法書士 古根村 博和 氏、遺言書保管官 古谷 ゆう子 氏、司法書士・民事信託士 福住 桂司 氏、司法書士 辻本 和弥 氏、司法書士・民事信託士 高橋和明 氏

(ウ) 市民後見人の選任について

横浜家庭裁判所小田原支部から市民後見人が3人選任されました(厚木市社会福祉協議会と複数受任)。既に受任をしていた3人と合わせて、令和3年度に登録している6人全員が市民後見人として活動することができました。

- a 令和3年12月16日付で後見人の選任審判が決定
 - b 令和4年1月26日付で保佐人の選任審判が決定
 - c 令和4年3月22日付で保佐人の選任審判が決定
- (エ) 法人後見活動の普及啓発

法人後見に関する相談を受け、法人後見活動の普及啓発を行いました。

開催日・場所	内容	参加者数
令和3年 9月17日(金) オンライン開催	(1)厚木市成年後見制度利用促進基本計画について (2)厚木市権利擁護支援センターの役割と法人後見受任拡大への取組について (3)厚木市社会福祉協議会の取組について (4)敬和会の取組について (5)法人後見受任拡大に関する意見交換・質疑応答	市内に施設を有する社会福祉法人 5法人9人 (高齢) 4法人6人 (障がい) 1法人3人

(オ) 横浜家庭裁判所小田原支部から本会が成年後見人等として選任され、法人後見を推進しました。

- a 令和3年12月16日付で、後見人として選任審判が決定しました。(市民後見人と複数受任)
- b 令和4年1月26日付で、保佐人として選任審判が決定しました。(市民後見人と複数受任)
- c 令和4年3月7日付で、後見人として選任審判が決定しました。

エ 高齢者及び障がい者の虐待に関すること

(ア) 高齢者及び障がい者の虐待等、権利侵害に関する相談、通報を受付し、関係機関の連携を図りました。また、本会広報紙やホームページで市民等に広報、啓発を行いました。

虐待相談受付件数

	高齢者	障がい者	その他	合計
虐待通報・届出受理	6	8		14
虐待相談・連絡調整	36	247	6	289
合計	42	255	6	303

(イ) 虐待防止講演会を開催し、虐待防止の啓発に努めました。

開催日・場所	内容	参加者数
令和4年 3月 8日(火) 厚木市保健福祉センター	「虐待のとらえ方～コロナ禍での対応とポイントは何か～」	集合参加 3人 オンライン参加 20人

※講師 社会福祉法人唐池学園貴志園副園長 田中 晃 氏

オ 福祉まるごと相談（福祉総合相談）

市民の日常生活における福祉に関する様々な心配事、悩み事、困り事など、あらゆる福祉問題に幅広く気軽に相談できる窓口として、従来の福祉総合相談を拡充し、令和3年6月に「福祉まるごと相談（福祉総合相談）」を開設しました。

相談対応延べ件数 253件（新規相談対応90件、継続相談対応163件）

※ 複合的な課題を抱える世帯相談にも応じているため、1回の相談において対象者属性が複数となる場合があります。

対象者属性							初回/継続		方法				対応内容			
対象							区分		相談方法				対応内容			
高齢者		障がい者			一般	その他	初回	継続	来所	電話	訪問	その他	相談援助	連絡調整	ケースカンファ	その他
認知症	一般	知的	精神	身体												
19	59	54	52	5	67	11	90	163	35	173	29	24	198	38	6	15

相談内容（初回相談時）

生活困窮	福祉サービス	家族関係	住宅関係	介護	保健・医療	離職・就労	子育て	年金	財産・相続	認知症関係	生きがい	リハビリ	福祉機器	立ち上げ支援	活動組織の	その他
17	15	10	10	5	5	3	1	1	1	1	1	0	0	0	0	20

※ 福祉まるごと相談準備期間の4～5月については、上記件数とは別に従来の「福祉総合相談」を実施し、相談件数を集計しています。

初回相談件数：26件、継続相談対応1件

カ 終活相談

身寄りがない高齢者等が自分らしい人生の最期を迎えることができるよう適切な助言等を行うため、司法書士による終活相談を実施しました。

相談件数 16件

（2）日常生活自立支援事業【8,516,626円】

認知症や障がいにより日常生活上の判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスの利用手続き、預貯金の出し入れなどの金銭管理や書類預かりを行い、日常生活の自立を支援しました。

ア 新規契約件数 9件

福祉サービス利用援助契約 9件

（高齢者3件、精神障がい者4件、身体障がい者2件）

イ 終了件数 11件

福祉サービス利用援助契約 11件

（高齢者7件、精神障がい者3件、身体障がい者1件）

ウ 利用契約件数(令和4年3月31日現在) 42件

福祉サービス利用援助契約 42件

（高齢者11件、知的障がい者2件、精神障がい者24件、身体障がい者5件）

書類等預かりサービス利用契約 1件（精神障がい者1件）

エ 新規契約等についての内部カンファレンスの開催

開催日・場所	協議事項
令和3年 4月 2日 (金) 社協相談室	(1)新規ケースについて (3件)
令和3年 5月 28日 (金) 社協相談室	(1)新規ケースについて (1件) (2)支援計画の見直しについて (1件)
令和3年 6月 25日 (金) 社協相談室	(1)新規ケースについて (3件) (2)支援計画の見直しについて (1件)
令和3年 7月 26日 (月) 社協相談室	(1)新規ケースについて (2件) (2)支援計画の見直しについて (1件)
令和3年 8月 27日 (金) 社協相談室	(1)新規ケースについて (2件)
令和3年 9月 17日 (金) 社協相談室	(1)新規ケースについて (1件) (2)支援計画の見直しについて (6件)
令和3年 10月 8日 (金) 社協相談室	(1)新規ケースについて (1件) (2)支援計画の見直しについて (1件)
令和3年 11月 19日 (金) 社協相談室	(1)新規ケースについて (1件) (2)今後の支援体制について (1件)
令和3年 12月 20日 (月) ボランティア研修室	(1)支援計画の見直しについて (1件)
令和4年 2月 21日 (月) ボランティア作業室	(1)次年度の契約継続、支援計画見直しの対応について
令和4年 3月 28日 (金) ボランティア 研修室	(1)契約継続と支援計画見直しについて (41件)

オ 神奈川県社会福祉協議会主催の契約締結審査会への参加

開催日・場所	協議事項
令和3年 8月 13日 (金) オンライン開催 かながわ県民センター	(1)審査・助言案件について (1件)

3 居宅介護事業【11,548,536円】

障害者総合支援法における居宅介護事業所として障がい福祉サービスを提供しました。

ア 利用契約状況等（令和4年3月31日現在）

(ア) 利用契約者数 36人（視覚障がい者）

(イ) 従業者（ヘルパー） 26人

イ 令和3年度利用実績

(ア) 居宅介護事業

（単位：人、件、時間）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助	利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	7	8	4	7	7	7	7	9	7	5	4	76
	時間数	15.3	17.8	9.0	15.3	15.3	15.5	15.8	20.3	15.3	10.8	8.0	166.4
通院等介助	利用者数	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	4
	件数	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	5
	時間数	4.0	0	0	8.5	0	0	3.0	4.5	0	0	0	20.0
合計	利用者数	2	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	16
	件数	8	8	4	9	7	7	8	10	7	5	4	81
	時間数	19.3	17.8	9.0	23.8	15.3	15.5	18.8	24.8	15.3	10.8	8.0	186.4

(イ) 同行援護事業

（単位：人、件、時間）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
同行援護	利用者数	25	22	24	23	23	24	25	25	26	25	22	288
	件数	135	122	141	129	122	130	137	138	126	103	101	1,523
	時間数	529.5	486.0	544.5	534.0	480.5	541.5	570.5	578.5	536.5	422.0	406.0	6,199

ウ 厚木市社協居宅介護事業所従業者研修

厚木市社協居宅介護事業所の従業者向けに、業務のレベルアップと適切なサービス提供を図ることを目的とした研修会を開催した。

開催日・場所	内容
令和4年 1月21日（金） 厚木市保健福祉センター	コロナ禍における支援について

※講師 NPO 法人神奈川県視覚障害者福祉協会、
神奈川県視覚障害者情報センター神奈川ライトハウス 福喜多 恭子 氏

4 喫茶・売店事業【7,258,565円】

公益事業として、障がい者の雇用の場の確保と利用者の利便性向上のため、厚木市保健福祉センター内で、次の事業を実施しました。

ア 喫茶事業（ともしびショップの経営）

喫茶どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営
年間199日営業 延べ利用者：1,911人

イ 売店事業（ともしびショップの経営）

売店どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営
年間199日営業 延べ利用者：1,992人

ウ 厚木市保健福祉センター内における清涼飲料水の自動販売機の設置（6台）

5 自動販売機設置事業【401,396円】

収益事業として、市内公共施設に清涼飲料水等の自動販売機を設置し、本会福祉事業の財源確保を図りました。 計48台

6 その他

不要入れ歯リサイクルボックスの設置

厚木市保健福祉センター1階 大型回収ボックス1台

厚木市老人福祉センター寿荘 小型回収ボックス1台